

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

・適用拡大 2021年7月21日付(5件)

(1) フェニックス顆粒水和剤

登録第21916号

使用液量の変更: かんしょ/ハスモンヨウ、ナカジロシバ(16~32倍)/1.6ℓ/10a⇒0.8~1.6ℓ/10a

【変更後】

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | フルベンジアドを含む農薬の総使用回数 |
|------|------------------|----------------|------------------|--------|---------|------------|--------------------|
| かんしょ | ハスモンヨウ ナカジロシバ | 16~32倍 | 0.8~1.6 ℓ/10a | 収穫前日まで | 2回以内 | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | 2000~ 6000倍 | 100~300 ℓ/10a | | | 散布 | |

【変更する注意事項】

・無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。

- ① 散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。
- ② 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
- ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- ④ 散布薬液の飛散によって自動車やカート等の塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- ⑤ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タケの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。

(2) フェニックスフロアブル

登録第22853号

使用方法の追加: くり/モモゴマダラメイガ、クスサン(40倍、4ℓ/10a)、無人航空機による散布

【変更後】

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | フルベンジアドを含む農薬の総使用回数 |
|-----|-------------------|-------|--------------|--------|---------|------------|--------------------|
| くり | モモゴマダラメイガ クスサン | 40倍 | 4ℓ/10a | 収穫前日まで | 2回以内 | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | 4000倍 | 200~700ℓ/10a | | | 散布 | |

【変更する注意事項】

・無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。

- ① 散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。
- ② 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
- ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- ④ 散布薬液の飛散によって自動車やカート等の塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- ⑤ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タケの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。

(3) メジャーフロアブル

登録第 23804 号

使用方法の追加: やまのいも/葉渋病、炭疽病(20倍、1.6ℓ/10a、40倍、3.2ℓ/10a)、
無人航空機による散布

【変更後】

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ピロキシトロビンを含む農薬の総使用回数 |
|-------|------------|--------|--------------|--------|---------|------------|---------------------|
| やまのいも | 葉渋病 炭疽病 | 2000 倍 | 100~300ℓ/10a | 収穫前日まで | 3 回以内 | 散布 | 3 回以内 |
| | | 20 倍 | 1.6ℓ/10a | | | 無人航空機による散布 | |
| | | 40 倍 | 3.2ℓ/10a | | | | |

【変更する注意事項】

・無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。

- ① 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
- ② 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
- ③ 沈殿が生じるおそれがあるため、散布薬液調製後は速やかに散布すること。
- ④ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- ⑤ 散布薬液の飛散によって自動車やカート等の塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- ⑥ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。

(4) テツケンジャンボ

登録第 23985 号

適用雑草名の変更: 移植水稻/マツバイ、ホタルイ、ミガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、
クログワイ、コウキヤガラ⇒多年生広葉雑草

【変更後】

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | 本剤の使用回数 | 使用方法 |
|------|--------------------|--|-------------------------------|---------|--------------------------|
| 移植水稻 | 一年生雑草及び 多年生広葉雑草 | 移植後 15 日～ ルビエ 4 葉期 但し、 収穫60日前まで | 小包装 (パック)10個 (500g)/10a | 1回 | 水田に小包装(パック)のまま投げ 入れる。 |

| | |
|-----------------------|------------------------|
| ペノキスラムを含む 農薬の総使用回数 | ベンゾビシクロを含む 農薬の総使用回数 |
| 2 回以内 | 3 回以内 |

【変更する注意事項】

- (1) 多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ウリカワは 4 葉期まで、ミガヤツリは 3 葉期まで、ヒルムシロは発生盛期まで、クログワイは発生前から草丈 20 cm まで、オモダカは草丈 30 cm (発生前から矢じり葉抽出期) まで、コウキヤガラ、シズイは草丈 20cm まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。
- (2) コウキヤガラ及びシズイは必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。

(5) ニトウリュウジャンボ

適用雑草名の変更: 移植水稻/マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ⇒多年生広葉雑草

【変更後】

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | 本剤の使用回数 | 使用方法 |
|------|----------------|---|-------------------------------|---------|----------------------|
| 移植水稻 | 一年生雑草及び多年生広葉雑草 | 移植後 15 日～ ルビ 4 葉期 但し、 収穫60日前まで | 小包装 (パック)10個 (500g)/10a | 1回 | 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。 |

| | |
|-----------------------|------------------------|
| ペノキスラムを含む 農薬の総使用回数 | ベンゾピシクロを含む 農薬の総使用回数 |
| 2 回以内 | 3 回以内 |

【変更する注意事項】

- (1) 多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ウリカワは 4 葉期まで、ミズガヤツリは 3 葉期まで、ヒルムシロは発生盛期まで、クログワイは発生前から草丈 20 cm まで、オモダカは草丈 30 cm (発生前から矢じり葉抽出期) まで、コウキヤガラ、シスイは草丈 20cm まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。
- (2) コウキヤガラ及びシスイは必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。

以上